

返礼演奏が行なわれた。パロックの組曲とルーマニアの舞曲、アンコールにタンスマンの「バルカローレ」をひく。確実なテクニックと端正な演奏スタイルを披露した。

ミクルカは今回の来日で全国十六公演の予定であり、各地での好評が多いに期待される。

(編集部)

★芳志戸幹雄ギターリサイタル

中止のお詫びと延期
去る十月十六日に予定された「芳志戸幹雄ギターリサイタル」は、本人急病のため中止になりました。なお延期公演は、翌年一月十七日(休)東京ABC会館ホールにて開催されます。芳志戸氏自身と主催者の高柳音楽事務所より、皆さんにご迷惑をおかけした点について深くお詫び申し上げますとのことです。

芳志戸氏は、今回のリサイタルのプログラムをたいへん重くみているといわれております。また、渡西中一時帰国等たいへん身体のコンディションを狂わせてしまったとのことでもあります。氏の演奏会を心待ちにしていた方々にはたいへん残念だが、氏の全快を祈り、そして良い演奏を聴かせてくれることを期待し楽しみに待とうではないですか。

(岡03/353/2242)

海外ニュース

★芳志戸・荏村両氏の

パリのコンサート

十一月二日「パリの秋」の一環として音楽監督、武満徹氏による芳志戸、荏村両氏のジョイントコンサートが、大成功であった由、四日朝早くパリより鈴木一郎氏及び芳志戸氏より電話報告があった。

曲目は三善晃、野呂武男、武満徹毛利蔵人氏らの作品で、前衛ものばかりであった。

★柿沼宏嗣氏活躍

毎年開かれるイタリア「ジェノヴァ現代音楽祭」は今年九月に開催された。その中で柿沼氏の作品「和」が第十一回芸術参加作品二位に選ばれた。



歌している。一九三〇年は、もちろん戦前のことであり、一口に渡欧といつても今日のそれには全く似ない苦勞の多い旅といえる。戦争のため一時帰国し、再び一九三七年渡欧し一九四六年に帰国されている。この間は、ほとんどスペインに留学されていたということである。



新刊書より

◎「砂上のいのち」

一 フラメンコと闘牛—
著 勝田保世 (音楽の友社)
スペインの国は、いろいろな意味で興味を持たれる国である。今月、勝田保世氏の著書「砂上のいのち」の発売により、フラメンコの真髄を知ることができる。

勝田氏は、今年五月三日に死去されたフラメンコギター界の草分けの人であったことは知るところである。氏は一九三〇年にイタリア、スペイン、フランスに音楽研究のため渡

この著書は、あらゆる困難を乗り越え、ただスペインの地に歩を進めることを願った勝田氏の思いと、そしてその地の本当のすばらしさを語ったものである。人は、この著書は雑誌「中南米音楽」に掲載されたことを知っているかもしれない。初出は、一九七三年四月号で、最終は、一九七六年三月号である。

この著書の中で勝田氏は、人の純粋なものを見方となえている。そこで見た情念、また、郷愁などを感じとりこころいものがスペインとい

この作品は、今年五月アンコーナ市にて、前以て公演し好評を得ている。その時のアドリア海の新聞CORRIERE ADRIATICOにCOに評が掲載された。その声は第二ギターに志村菊夫氏を、レチターイホに Thea ZIBETTI が加わった演奏であった。

Musica e pluralismo

... Per politica culturale non intendiamo proporre un determinato tipo di cultura alla collettività, ma mettere a disposizione più proposte per la libera scelta da parte del pubblico, articolato in singoli ed in gruppi... con questa presentazione verranno illustrati i criteri seguiti nella elaborazione del programma degli Incontri Musicali del comune ad inizio stagionale. Il recente concerto all'auditorium Rinaldi è stato una conferma di questo indirizzo: infatti l'organico strumentale, due chitarre classiche ed elettriche, nastro magnetico, il programma di autori contemporanei giapponesi, lasciavano pensare ad una proposta rivolta verso un pubblico che normalmente non è l'habitus del concerto.

Così è stato. Abbiamo visto con soddisfazione un folto pubblico esclusivamente (o quasi) giovanile (universitario e non); l'obiettivo era quello di offrire un prodotto musicale di avanguardia ad un pubblico nuovo che sapevamo esisteva ad Ancona, ma di rado ha momenti di aggregazione, almeno per la musica seria. Solo questo basterebbe di per se a legittimare l'operazione.

Il Duo giapponese Kakimura-Shimura (con

右はその作品についてのその時のコンサート評である。

「前略 コンサートは、ギター、エレキギターを用いてエレクトロニクス音、ギターとテープ曲等からM.Feldmanを除き、全て現代日本

今月のレコード

◎ルネサンス・リユート音楽の魅力

バルター・ゲルビツヒの演奏で、第一集に続く第二集の発売である。過日、不幸にもM・シェーハー氏を失った私達リユートファンは、ゲルビツヒの活躍も期待し、良い演奏を聴かせてくれることを願わざるを得ない。

今回の第二集は、イタリア編である。第一集は、ドイツ編であった。馴み多い作曲家は、V・ガリレイではないだろうか。他には、M・ガリレイ、F・モンテ、S・G・バルマC・ネグリ、レッシオ、カローソ、ゴルツァニスである。録音の中には作者不詳の作品も多くなる。

古楽器としては、はなやかな音楽を持つのがリユートと言っても良いだろう。また、リユートは悲しげに

- 取扱商品
- 各社楽譜・音楽書卸
 - 高級クラシックギター
 - ソニーオーディオ製品
 - 楽器・レコードの附属品
 - 卸売先
全国ギター教室
全国楽器・レコード店
大口需要家



シゲタ産業株式会社
〒160 東京都新宿区百人町1-10-12(桜田ビル)
山手線新大久保駅前 TEL.03(363)1861(代)

19・20世紀スペイン音楽による
鈴木よし江帰国記念ギターリサイタル (第二夜)



- <プログラム>
- Duo ムーア風セレナータ R.チャビイ, 他
 - Solo 「東方の国」よりNo.5, No.2 O.エスブラ
 - タンゴ「ガルシア・ロルカ讃歌」 K.アセンシオ
 - ハバネラ(初演) E.ハルフトル
 - ティエント M.オアナ
 - ファンダンゴ J.ロドリゴ
 - ドビュッシー讃歌 M.デ・ファリヤ
 - 粉屋の踊り K.
 - 入江のざわめき I.アルベニス
 - アストゥリアス K.

1978年12月10日(日) P.M6:30 浜松市児童会館ホール ¥1,500-
後援 (社)日本演奏連盟、(社)日本ギター連盟 お問合せ0534-52-1788